

PPT(Photic Phenomena Test) 実施マニュアル

※ 本マニュアルは、PLOS ONE 論文で報告されたPhotic Phenomena Test(以下PPT)を再現するための手順をまとめたものである。

Ukai Y, Okemoto H, Seki Y, Nakatsugawa Y, Kawasaki A, Shibata T, Mito T, Kubo E, Sasaki H. Quantitative assessment of photic phenomena in the presbyopia-correcting intraocular lens. PLoS One. 2021 Dec 1;16(12):e0260406. doi: 10.1371/journal.pone.0260406. PMID: 34851975; PMCID: PMC8635348.

<必要動作環境>

本アプリケーションを正しく動作させるための環境は下記の3通りになります。

※下記以外の環境では動作に支障が出る場合がございますので、その点予めご了承ください。

■OS:windows11, ブラウザ:Chrome

Windows(タブレット含む)をお使いの場合には、OSはwindows11、ブラウザはChromeの最新版をお使いください。

■OS:OS X 10.10(Yosemite)以降, ブラウザ:Safari

Macをお使いの場合には、OSはOS X 10.10以降、ブラウザはSafariの最新版をお使いください。

■OS:ipadOS 13.1以降, ブラウザ:Safari

iPadをお使いの場合には、OSはipadOS 13.1以降、ブラウザはSafariの最新版をお使いください。

また、WEBブラウザ上で動作するアプリケーションになりますので、オンラインである必要があります。
有線やWi-Fi環境をご確認ください。

1. 測定環境

照度(室内):薄暮環境(7 lux)

検査距離:被験者から光源まで2.0m。

光源: 45,241 cd/m²

2. 実施手順(標準プロトコル)

被験者を薄暮下の検査室で5分暗順応させる

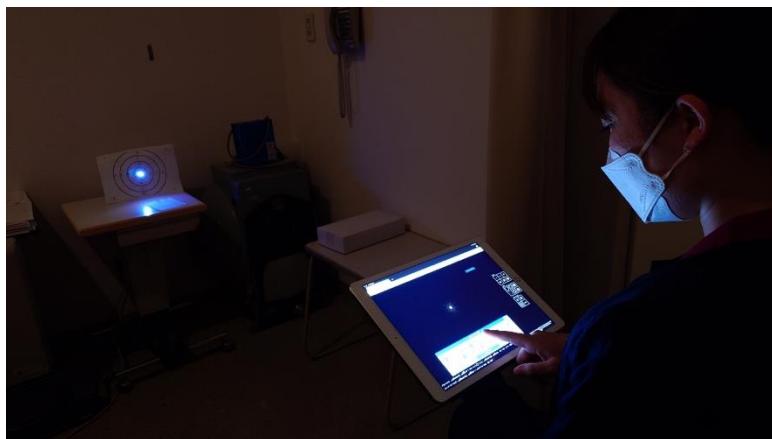
検査距離2mに合わせて、完全矯正+0.50Dの検眼レンズを装用させる

光源を提示し、グレア・ハロー・スターバーストの順に見え方を画面上に再現する

※検査開始時には、毎回同一の初期画面を提示してから開始することを推奨する

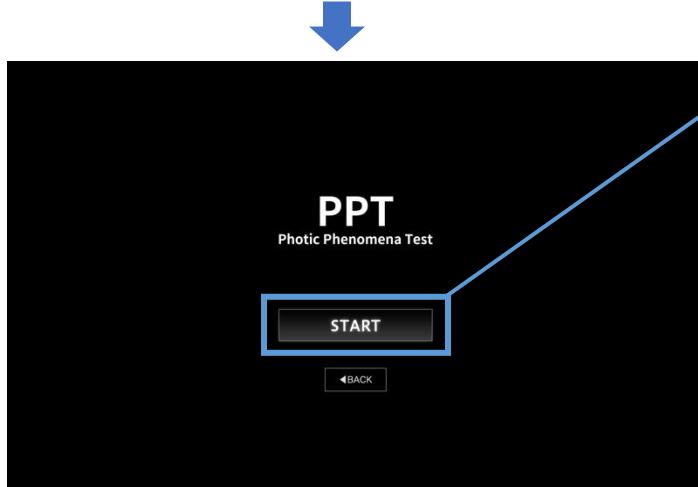
※サイズ▶明度の順で測定することを推奨する。

測定終了後、各種測定値を記録する

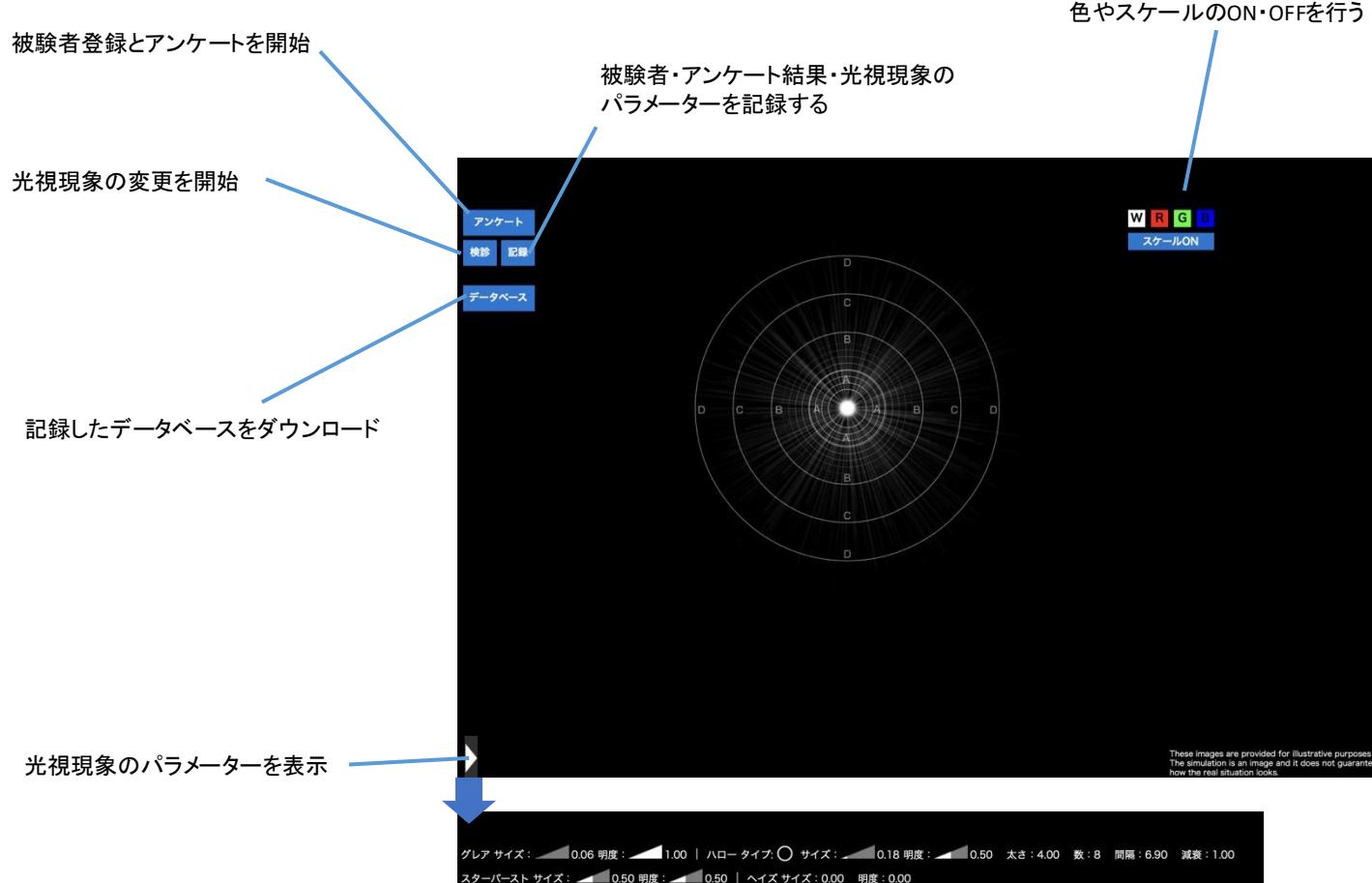




まずは、PPTのトップ画面に移るため、
PPTのボタンを押してください

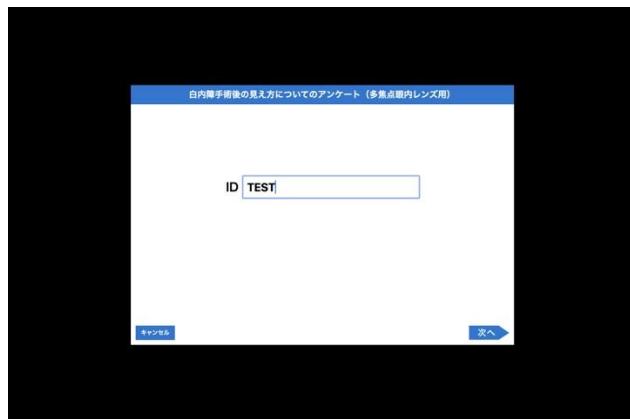


SARTボタンを押すと、PPT用のアプリが立ち上がります。
トップ画面に戻る場合には、BACKボタンを押してください。

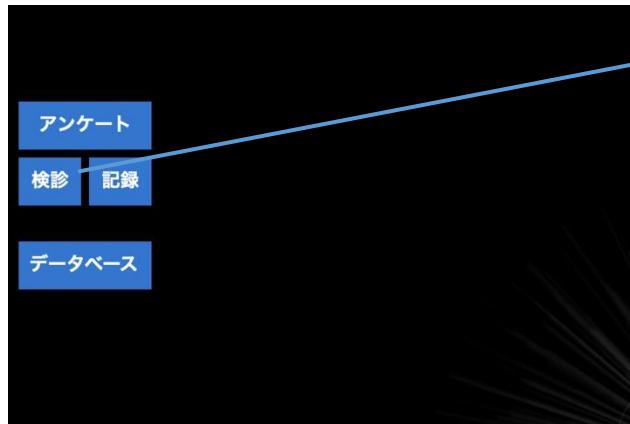




アンケートボタンを押すと被験者情報の登録ウィンドウが立ち上がります。



必要な情報を入力し、次へボタンを押してアンケートを進め、完了してください。

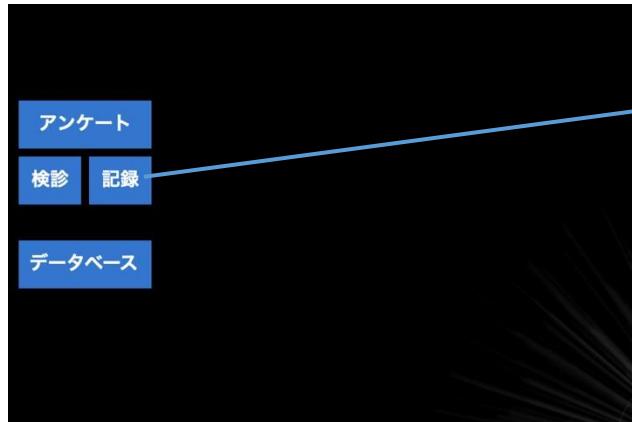


次に検診ボタンを押すと、
光視現象を変更できるようになります。



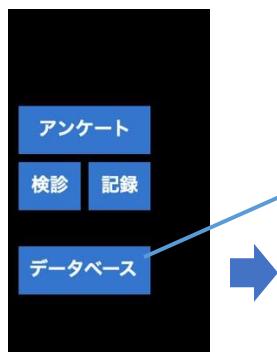
被験者の見え方を聴取しながら変更します。
右側のプリセットを押すと簡単に変更できますので
合わせてご活用ください。
また、カスタマイズボタンを押すとハローの細かな
調整が可能です。

Closeボタンを押して終了します。



記録ボタンを押すと現状の被験者・アンケート・光視現象のパラメーターが保存されます。

次の被験者にうつるにはまたアンケートボタンを押して同様に作業をします。



データベースボタンを押すと、今まで登録した情報をCSV形式でダウンロードすることができます。
※ブラウザのキャッシュをクリアするとデータは消えますのでご注意ください。



ご購入前のお問合せや技術・医療面の質問まで、
下記にメールにてお問合せをお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 紫外線から眼を守るEyes Arc

Vision Simulator Eyes Arc

お問合せ窓口 : info@vs-eyesarc.org